

令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第4回）

会議の概要

- 会議名 令和6年度羽田空港の機能強化に関する都及び関係区市連絡会 分科会（第4回）
- 開催日 令和7年2月19日（水曜日）
- 出席状況 東京都、港区、新宿区、江東区、品川区、目黒区、大田区、渋谷区、中野区、豊島区、北区、板橋区、練馬区、江戸川区、国土交通省
- 議事の要旨
 - * 国土交通省より、騒音測定結果や部品欠落報告等についての説明

【主な意見及び国の回答等】

- ・ 部品欠落の数量について、経年ではどのような傾向か。
⇒年度の比較については手元に資料を持ち合わせていないが、昨年度8月と9月の2ヶ月でも合計290個だったため、これらと比較して今回は少なくなっている。
- ・ 部品欠落の件数が減っているとのことだが、安全対策との因果関係はあるのか。
⇒部品欠落の件数をもって安全性が高いかどうか判断することは難しい。資料は全国7空港の件数であり、羽田空港で報告されたと言ってもそれが羽田空港で落ちたものとは限らない。また、体制強化等もあり、同じ水準で実施をしていれば比較ができるかもしれないが、必ずしもそうではなく、一概に申し上げることはできない。
- ・ 1キログラム以上の部品が1個発見されているがどのようなものか。
⇒1,050グラムのタイヤ片が空港内で発見されたものである。
- ・ 当区では問い合わせ件数は減少しているものの、毎年のように陳情が提出されている。毎回この場を借りて要望を行っているところであるが、改めて住民説明会について、新飛行経路の運用開始前は複数回実施していただいたが、議会等から再度の開催要望を受けている。飛行直下の住民の不安払しょく、安心・安全を担保するために、教室型説明会の開催を前提に検討いただきたい。また、昨年1月に発生した羽田の衝突事故について、6月に有識者検討会による中間とりまとめを発表し、できるところから対策を講じていただいているが、韓国の釜山やアメリカのワシントンで航空機事故が続いている状況であり、引き続き、いっそうの安全対策および再発防止策を講じていただきたい。
⇒まず説明会についてであるが、昨年末に第6回固定化回避検討会を開催しており、その開催結果について、チラシを経路直下の地域住民の皆様へ全戸配布し、周知を行う予定である。このチラシの中に、固定化回避検討会の内容のみならず、最近の騒音の状況や飛行経路についての情報を掲載している。他にも、国のホームページでも情報提供や、専用の電話窓口等でも対応を行っている。引き続きご質問、ご意見については丁寧に対応していく。また、住民説明会ではないが、これまでも国会議員や地域の要望に合わせて地域のみならずと意見交換をする場を設けている。次に安全対策であるが、昨年1月の衝突事故後、対策委員会を設置し、昨年夏の中間とりまとめにおいて対策を発表している。現在、その対策に基づいて対応を進めているところである。海外では事故が発生しており、不安に思われる方も多くいらっしゃると思うが、事故が起きないように、安全対策を着実に実行して

いく。

- ・ チラシの全戸配布をはじめ、地域住民の皆様への様々な声に対して丁寧な説明を改めて要望させていただく。公表されている第6回固定化回避検討会の議事概要では、次回の開催は今年中となっていたが、現段階で開催の時期が分かれば教えていただきたい。当区では、早期の開催を要望させていただく。また、区民負担の軽減につながる具体的な方策の提示と実施をお願いさせていただく。
- ⇒地域の皆様に対して、引き続き丁寧な説明を実施していく。次回の固定化回避検討会の日程についてであるが、年内開催で進めていく予定。現在、関係機関とも検討を進めているところである。

以上